

沖縄県

歯科医師会誌

The Journal of the Okinawa Dental Association
2026. February Vol 1



Topics

- ★新春のご挨拶 一般社団法人 沖縄県歯科医師会 会長 米 須 敦 子
- ★年頭所感 公益社団法人 日本歯科医師会 会長 高 橋 英 登
- ★令和8年沖縄県歯科医師会新年会 調査広報委員 松 川 拓 幹
- ★受章おめでとうございます
 - 旭日双光章／長嶺 和弘 ●瑞宝双光章／照屋 均 ●厚生労働大臣表彰／津嘉山 一
 - 文部科学大臣賞／新垣 善章 ●日本歯科医師会会長表彰／平良 恵信
- ★沖縄歯科衛生士学校 体育祭・登院式 沖縄歯科衛生士学校 新 垣 花 絵
- ★第39回 沖縄県歯科医学会 学術委員 新 城 美由紀
- ★第75回全国学校歯科医協議会 学校歯科委員 下 地 竜 也
- ★令和7年度歯科医療従事者技術向上支援研修会 学術委員 新 城 美由紀



(一社) 沖縄県歯科医師会

表紙写真

令和8年1月8日新年会 かぎやで風・三味線

左下 来間島の長間浜、

右上 干潮にしか現れない幻の砂浜、ユニの浜

新年会撮影者

本永昌代/事務局

content

・新春のご挨拶	（一社）沖縄県歯科医師会 会長 米 須 敦 子	… 3
・年頭所感	公益社団法人 日本歯科医師会 会長 高 橋 英 登	… 4
・令和8年 沖縄県歯科医師会新年会	調査広報委員 松 川 拡 幹	… 5
・受章(賞)おめでとうございます		
旭日双光章	長 嶺 和 弘	… 8
瑞宝双光章	照 屋 均	… 9
厚生労働大臣表彰	津嘉山 一	… 10
文部科学大臣表彰	新 垣 善 章	… 11
日本歯科医師会会長表彰	平 良 恵 信	… 12
・第77回 九州歯科医学大会ゴルフ大会	よなばる中央歯科 照 屋 均	… 16
・令和7年度 沖縄歯科衛生士学校 体育祭	沖縄歯科衛生士学校 新 垣 花 絵	… 17
・令和7年度 沖縄歯科衛生士学校 登院式	副校長 中 地 昭 雄	… 18
● 県歯報告 ●		
・第39回 沖縄県歯科医学会	学術委員 新 城 美由紀	… 20
・令和7年度 共同募金のご寄付について (お礼)		… 27
● 県外報告 ●		
・第75回全国学校歯科医協議会	学校歯科委員会 下 地 竜 也	… 28
● 県内報告 ●		
・令和7年度 歯科医療従事者技術向上支援研修会	学術委員 新 城 美由紀	… 29
□職員紹介		… 30
□新聞コラム		… 31
□地方紙だより		… 32
□理事会報告		… 34
□編集後記		… 40
□8020達成者認定証の発行について		… 41
□会員動向		… 43
□国保だより		… 44



(一社) 沖縄県歯科医師会
会長 米須 敦子

新春のご挨拶

あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。平素より本会の活動に対し、深いご理解と温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和七年度におきましては、旭日双光章を受章されました長濱 正先生をはじめ、叙勲ならびに大臣表彰等、合計35名の先生方が栄えある受賞をされました。長年にわたる地域歯科保健活動や学校歯科保健活動をはじめとする多大な社会貢献が高く評価されてのご受章であり、心より

敬意と感謝を込めてお祝い申し上げます。

また、本会が浦添市牧港に会館を設立し、沖縄の歯科医療が数々の課題に向き合う中で、その礎を築いてこられた「沖縄歯科衛生士学院」は、本年、創立50周年を迎えます。あわせて、沖縄県内の心身障害者に対する口腔治療および口腔衛生指導を目的として開設された「口腔衛生センター歯科診療所」も、50周年を迎えることとなりました。

現在は、浦添市港川の旧会館を活用し「沖縄歯科衛生士学校」として三年課程の教育を行い、さらに南風原町においては「沖縄県口腔保健医療センター」として事業を継続しております。これもひとえに、諸先輩方の揺るぎない信念と、たゆまぬ努力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

さて、歯科界を取り巻く現状は、歯科医療従事者全体の人材不足という深刻な課題に直面しております。歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士のいずれにおいても人材の確保が困難な状況が続いており、県民の皆さまに対する適切な歯科医療提供体制の維持が大きな課題として浮き彫りとなっています。

これに対処するため、本県においては以下の取り組みを進めております。

まず、歯科医師の研修医受け入れ体制の充実であります。

歯科衛生士については、四年制大学の増加や医科病院等での需要拡大に伴い、より高度な知識と技能が求められ、国家試験も年々難易度を増しています。そのような中、全員合格を目指したカリキュラムの見直しを運営委員会において検討しております。また、本校独自の奨学金制度による初めての卒業生を迎える今年度は、多くの学生が会員診療所での勤務を希望しており、今後も評価・改善・実践を重ねながら運営を進めてまいります。

歯科技工分野においては、技工士数が全国平均を大きく下回り、県外在校生も非常に少ない状況にあります。このため、技能向上を目的とした事業の推進に加え、働き方改革の推進、現役世代の就業期間の延伸、さらには人材育成の観点から、養成校開設に向けた準備を進めることが重要であると考えております。

加えて、昨今の物価高騰は、歯科医療機関の経営や歯科医療従事者の生活にも大きな影響を及ぼしており、賃金対策ならびに物価高騰対策は喫緊の課題となっています。安定した歯科医療提供体制を維持するためにも、行政に対し、実情を踏まえた継続的な支援と柔軟な制度設計を今後も強く求めてまいります。

また、各種補助金や支援制度については、迅速かつ確かな情報共有が不可欠です。会員が必要な支援を確実に活用できるよう、補助金等に関する情報提供体制の充実を図るとともに、申請・届出制度についても、より分かりやすく利用しやすい仕組みとなるよう、行政との連携を強化してまいります。

さらに、組織力強化の観点から、未入会歯科医師への対応も重要な課題です。歯科医師会の役割や活動内容を丁寧に伝え、研修会や情報提供の機会を通じて理解を深めていただくとともに、地域歯科医療を支える仲間として参画いただけるよう、未入会者対策の一層の充実に、会員の先生方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

会員の先生方と一丸となって取り組み、地域歯科医療の未来をより明るいものにしていきたいと考えております。本年も引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



公益社団法人日本歯科医師会
会長 高橋英登

年頭所感

新年、明けましておめでとうございます。

会員各位におかれましては、旧年中は日本歯科医師会の諸活動に多大なお力添えをいただき、心から感謝申し上げます。

今、思い返すと私が日歯に入会したのは昭和54年、会員歴は47年目になります。当時の第1種会員の会費が38,000円、それが現在もそのままという驚愕するような事実は意外と知られていません。当時の私にとって、日歯の存在は水と空気のような、あまりその存在を意識することがなく、自分たちに何をしてくれているのかも良く分からない存在であった感は否めません。それに比べて地区歯科医師会の存在は身近でした。役員の方との接触が日常的にあり、地区歯科医師会の諸活動にも直接関わることも多く、自分が歯科医師会の会員として地域社会に貢献していることを強く意識する機会が多々ありました。また、地区歯科医師会会員の先生方は身近な同志であり、相互補完体制を維持しながら歯科医師会の諸活動を担っているという自覚が十分ありました。これが日歯となると一気に存在感が希薄となり、日歯雑誌や日歯広報ぐらいでしか、その活動内容を知る術がなかったため、当然、雲の上にあるような感覚でしか日歯のことを理解できなかったというのが残念ながら当時の私であったと思います。

では、ここで我が国の歯科医療の中で、日歯の諸活動が無くなってしまったらどうなるのか？を考えてみたいと思います。

言うまでもなく、日本の医療制度は、国策として構築、運営されており、当然のことながら、診療報酬に限らず、様々な国家予算を「歯科」に振り向けてくれる判断は立法府の理解と行政府の協力が不可欠です。そのためには、日歯の全会員が日歯の活動を理解し、納得して支援体制を構築し、それにより多くの歯科医師が携わることが重要です。つまり国に対し物言う唯一の歯科を代表する組織である日歯が、現在危惧されているように組織率がこれ以上低下し、それこそ歯科医師の半数にも満たない組織に成り下がれば、国に対峙または国に強く働きかけることができなくなってしまいます。このことで不幸になるのは優良な歯科医療を享受することができなくなる国民であります。

最近、国民や医療関係の他職種の方々が歯科の大切さを理解してくださるケースが非常に増えていることは、会員の先生方も実感されていると思います。高市新政権も当初より歯科医療の大切さをアピールしていただいていると受け止めており、これらの観点からも歯科界が再興する最高のチャンスなのです。国民からの後押しを受けて、これを千載一遇のチャンスと捉え、国民歯科医療の充実および歯科医院経営基盤の安定の実現に向かって邁進する覚悟であります。

令和8(2026)年の年頭に際し、日歯の組織率を上げ、歯科医師の社会的評価をさらに向上させることができるよう、全会員が一つの目標に向かって一致団結しようではありませんか。皆で歯科界が低迷期を脱する第一歩を踏み出しましょう。

新しい年が会員の先生方お一人お一人にとって充実した幸多き年となりますことをご祈念申し上げます、年頭に当たってのごあいさつといたします。

本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

令和8年

沖縄県歯科医師会新年会

沖縄県歯科医師会新年会次第

日時：令和8年1月8日（木）午後7時 場所：ザ・ナハテラス

司会 専務理事 渡慶次 彰

- | | | |
|--------------------|-----------|-------|
| 1. 開会のことば | 常務理事 | 中地昭雄 |
| 2. 会長挨拶 | 会長 | 米須敦子 |
| 3. 県知事表彰・歯科医師会会長表彰 | | |
| 県知事表彰 | 城間吉弘 | 宇根良松 |
| 会長表彰 | 金城尚典 | 中村亨 |
| | 屋宜裕子 | 金城清一郎 |
| 4. 令和7年受賞者功績紹介 | 理事 | 玉城齊 |
| 5. 被表彰者代表挨拶 | 長濱 | 正 |
| 6. 来賓祝辞 | 沖縄県知事 | 玉城デニー |
| | 沖縄県医師会会長 | 田名毅 |
| | 沖縄県薬剤師会会長 | 前濱朋子 |
| 7. 乾杯 | | |
| 8. 懇談 | | |
| 9. 新入会員紹介 | | |
| 10. 役員自己紹介 | | |
| 11. 福引抽選 | 常務理事 | 中地昭雄 |
| 12. 閉会のことば | 常務理事 | 辺土名朝憲 |

令和8年1月8日(木)午後7時より、ホテル ザ・ナハテラスにおいて歯科医師会新年会を開催しました。当日は会員を中心に約138名が参加し、新年の門出を祝うにふさわしい、終始和やかで落ち着いた雰囲気の中で会が進行しました。

新年会は、オープニングセレモニーとして沖縄の伝統舞踊「かぎやで風」が披露され、厳かさと華やかさを併せ持つ舞が会場を包み込み、新年にふさわしい幕開けとなりました。地方（唄・三線）は大城正雄先生、上原喬先生、棚原勇様が務められ、華やかな舞台上でオープニングを一層引き立てていただき参加者一同、新たな一年の始まりを実感する印象深いひとときとなりました。

その後、中地昭雄常務理事による開会のことばが述べられ、新年を迎えるにあたっての思いとともに、日頃より歯科医師会活動を支える会員への感謝の意が伝えられました。続く会長挨拶では、米須敦子会長より、これまでの歯科医師会活動への謝意とともに、本年の事業方針、ならびに今後の歯科医療を取り巻く環境を見据えた展望について述べられ、参加者一同、気持ちを新たにすることができました。

会の中では、県知事表彰会長表彰を受賞された先生方が紹介され、日頃の歯科医療および歯科医師会活動への多大なご貢献に対し、会場から盛大な拍手が送られました。

さらに、叙勲・大臣表彰等を受賞された7名の先生方が紹介され、長年にわたり歯科医療の発展および地域医療に寄与されてきた功績に対し、改めて敬意が表されました。表彰者を代表して長濱正先生が挨拶に立ち、受賞への感謝とともに、これまで支えてきた関係者への謝意、さらには今後も歯科医療の質の向上に尽力していく決意が述べられ、その言葉は参加者一人ひとりの胸に深く刻まれました。

懇談の時間には、会員同士が日頃の診療や地域医療の現状について意見を交わし、世代を超えた交流が自然と広がりました。久しぶりの再会を喜ぶ声や笑顔が会場各所に見られ、親睦を深める有意義な時間となりました。

会の締めくくりには、邊土名常務理事による閉会の言葉が述べられ、本年の歯科医師会のさらなる発展と、会員一人ひとりの健康と活躍を祈念し、名残惜しさを感じさせながらも盛会のうちに閉会となりました。本新年会の開催にあたり、準備から運営、後片付けに至るまで尽力された事務局の皆様、心より感謝申し上げます。

調査広報担当理事 松川 拓 幹

令和8年

沖縄県歯科医師会新年会





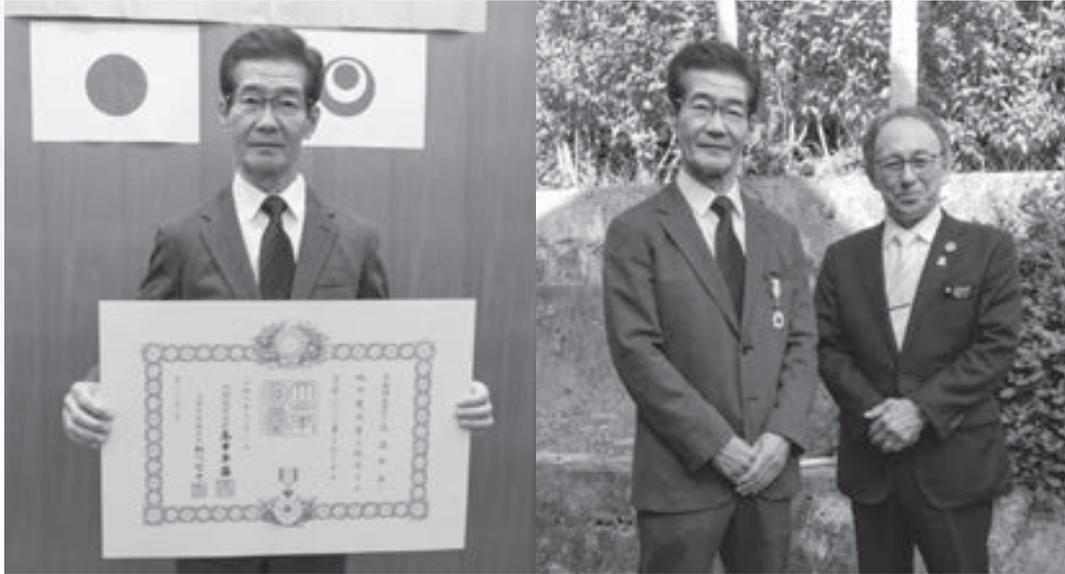
新年会



受章おめでとうございます

旭日双光章

長嶺和弘



この度、令和7年秋の叙勲を受章いたしましたことを、大変名誉なことと喜んでおります。ご推薦いただきました県歯科医師会執行部の皆様、そして会員の先生方に心より感謝申し上げます。

11月14日には、沖縄県知事公舎において玉城知事より勲記と勲章を拝受いたしました。

その後、11月28日には赤坂のホテルニューオータニにて再び叙勲伝達式が行われ、午後には皇居・豊明殿において天皇陛下に拝謁する栄に浴しました。

私は那覇市で開業して41年になります。その間、沖縄県歯科医師会の一員として学校歯科医、広報委員としての活動、さらに広報担当理事を務めさせていただきました。これらの取り組みが今回の受章につながったものと受け止めております。

受章おめでとうございます

瑞宝双光章

照屋 均



この度、令和7年度秋の叙勲におきまして瑞宝双光章の栄誉を賜ることになりました。

これもひとえに長年にわたり多くの皆様のおかげと、推薦していただいた米須会長をはじめ役員に心より感謝申し上げます。

昭和58年、生まれ育った与那原町で開業した43年前、先輩方からいただいた心に残った言葉を思い出します。

「足りないものは患者さんが教えてくれるよ・・・」

「医療は地域に根差し、できる限り長く続けることだ・・・」

今回の受賞にあたっては地元の方々からも多くの祝福があり嬉しく幸せに思いました。

歯科医になっての46年間を振り返ると、病気や怪我で一日も休むことなく仕事が出来た幸運があります。それがこれからも続くことを願いながら初心を忘れずに微力ではありますがもう少し地域の歯科医療に貢献できるように頑張っていきたいと思っています。

ありがとうございました。

受賞おめでとうございます

厚生労働大臣表彰

津嘉山 一



この度令和7年度の厚生労働大臣表彰を頂き、推薦していただいた県歯米須会長ならびに執行部の役員の皆様に感謝申し上げます。

また推薦の手続きをしていただいた県歯事務局の小祿局長、スタッフの方々本当にありがとうございました。

昭和63年にうるま市で開業し地域の歯科医療、口腔保健の普及に微力ながら従事してまいりました。

同時に県立具志川商業高校、県立沖縄高等支援学校、与勝第二中学校の歯科校医も兼任しております。

また4カ所の認可保育園の嘱託歯科医としてフッ化物洗口の導入に携わってまいりました。

これからも体力、気力が続く限り地域歯科保健、医療に従事してまいりたいと存じます。

今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう何卒お願い申し上げます。

受賞おめでとうございます

文部科学大臣表彰

新垣 善章



この度、歯科医師会に推薦して頂き文部科学大臣表彰を受賞することができました。これも偏に沖縄県歯科医師会の先生方の温かいご指導とご支援の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

入会以来、諸先輩方から賜りました厳しくも温かいご助言、そして地域歯科保健活動を通じて得た貴重な経験が、私の歯科医師としての骨格を作ってくださいました。今回の受賞は、私個人の活動だけでなく、本会が長年取り組んできた歯科医療への真摯な姿勢が評価されたものと受け止めております。

この栄誉を機に、微力ながら本会の更なる発展と、後進の育成に一層尽力してまいります。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

受賞おめでとうございます

日本歯科医師会会長表彰

平良 恵信



この度、日本歯科医師会会長表彰を受賞いたしましたことを心より深く感謝いたします。

沖縄県歯科医師会に入会して40年あまり経ちましたが、諸先輩方のご指導で、自分にできる会務、地域保健活動に努めてまいりました。このようなことが評価されて受賞につながったのであればうれしく思いますし、少しは歯科医師会に貢献できたのではないかと考えています。

また推薦をして頂いた沖縄県歯科医師会、推薦資料を作成していただいた歯科医師会事務局の皆様にも感謝いたします。

これからも今回の受賞を励みとして、微力ではありますが沖縄県歯科医師会の発展に寄与できたらと思っています。

受賞おめでとうございます



湖城 秀久
南部地区会員

第56回沖縄県公衆衛生大会県知事表彰
(公衆衛生事業功労)
2025年1月9日(木)



竹島 勇
中部地区会員

第56回沖縄県公衆衛生大会会長表彰
(公衆衛生事業功労)
2025年1月9日(木)



長堂 芳子
南部地区会員

沖縄県母子保健大会県知事表彰
(母子歯科保健功労)
2025年1月16日(木)



眞喜屋 睦子
北部地区会員

沖縄県母子保健大会会長表彰
(母子歯科保健功労)
2025年1月16日(木)



野原 昭彦
中部地区会員

うるま市教育委員会表彰
(学校保健功労)
2025年2月1日(土)



普天間 悟
南部地区会員

沖縄県学校保健会会長表彰
(学校保健功労)
2025年2月6日(木)



玉城 吉康
南部地区会員

沖縄県学校保健会会長表彰
(学校保健功労)
2025年2月6日(木)



玉城 均
南部地区会員

沖縄県学校保健会会長表彰
(学校保健功労)
2025年2月6日(木)



渡慶次 彰
中部地区会員

第92回自由民主党定期党大会表彰
(学校保健功労)
2025年3月9日(日)

新年会

受賞おめでとうございます



山城 正裕
南部地区会員

日本学校歯科医会
会長表彰
(学校歯科保健功労)
2025年3月19日(水)



幸地 克
中部地区会員

日本学校歯科医会
会長表彰
(学校歯科保健功労)
2025年3月19日(水)



玉城 均
南部地区会員

日本学校歯科医会
会長表彰
(学校歯科保健功労)
2025年3月19日(水)



熊谷 徹
北部地区会員

第54回自由民主党沖縄県支
部連合会大会表彰
(優秀党員)
2025年4月12日(土)



井上 博文
南部地区会員

第54回自由民主党沖縄県支
部連合会大会表彰
(協力者の部)
2025年4月12日(土)



仲若 三男
南部地区会員

浦添市学校保健
功労者表彰
(学校保健功労)
2025年6月12日(木)



山川 修
南部地区会員

九州地区連合歯科
医師会会長表彰
(歯科医師会発展功労)
2025年9月14日(日)



新崎 隆
中部地区会員

九州地区連合歯科
医師会会長表彰
(歯科医師会発展功労)
2025年9月14日(日)



大城 新二
中部地区会員

沖縄市教育委員会
表彰
(学校保健功労)
2025年11月5日(日)

受賞おめでとうございます

新年会



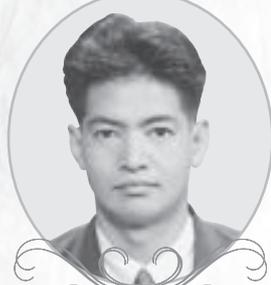
国吉 綾子
中部地区会員

**母子保育推進協議会
会長表彰**
(母子歯科保健功勞)
2025年11月28日(金)



城間 吉弘
南部地区会員

**沖縄県医事功勞者
知事表彰**
(歯科保健事業功勞)
2026年1月8日(木)



宇根 良
南部地区会員

**沖縄県医事功勞者
知事表彰**
(歯科保健事業功勞)
2026年1月8日(木)



松原 正明
宮古地区会員

**沖縄県医事功勞者
知事表彰**
(歯科保健事業功勞)
2026年1月8日(木)



金城 尚典
北部地区会員

**沖縄県歯科医師会
会長表彰**
(歯科医師会発展功勞)
2026年1月8日(木)



中村 亨
中部地区会員

**沖縄県歯科医師会
会長表彰**
(歯科医師会発展功勞)
2026年1月8日(木)



金城 康夫
南部地区会員

**沖縄県歯科医師会
会長表彰**
(歯科医師会発展功勞)
2026年1月8日(木)



屋宜 裕子
南部地区会員

**沖縄県歯科医師会
会長表彰**
(歯科医師会発展功勞)
2026年1月8日(木)



金城 清一郎
南部地区会員

**沖縄県歯科医師会
会長表彰**
(歯科医師会発展功勞)
2026年1月8日(木)

第77回九州歯科医学大会

第77回九州歯科医学大会 ゴルフ大会



よなばる中央歯科 照屋 均

久しぶりに九地連のゴルフ大会に参加しました。
会場はバブル華やかし頃に開場した福岡センチュリーGC。いまだに入口に門番がいたのが驚きでした。

沖縄からの参加は上原淳先生と私の2人。

コースは長くグリーンも速くてかなり手強い仕上がりで他県の馴染みの往年の片手シングルの先生方でも90台が多い中、上原先生が見事に攻略、準優勝に輝きました。特に終盤の16番 HD1の長いロングホールで快打3連発でパーオン、20mもあろうかというロングパットを沈めてのバーディは圧巻でした。

来年は大分です、移動が難儀ですが体力を維持して可能な限り参加したいとの思いを抱きながらコースを後にしました。

写真の説明

同伴は長崎県の先生でした

前年の沖縄開催時のお礼を述べられていました





令和7年度 沖縄歯科衛生士学校

体育祭



令和7年10月3日(金)、【磨け！技術と根性！私たちが歯科衛生士の鏡だ！】のスローガンを掲げ、ANAスポーツパーク屋内運動場にて体育祭を開催しました。全校生徒120名が参加し、午前中の限られた時間ではありましたが、どの競技においても活気に満ちた熱戦が繰り広げられました。

学年混合で編成したチームの団結力が問われる「五色綱引き」から始まり、続く教務も必死に走った「借り物競争」では応援の声が会場中に響き渡り、大きな盛り上がりを見せました。また、「騎馬戦」では各チームの戦略とチームワークが光り、大きな歓声が上がりました。

最後の競技となる「学年対抗選抜リレー」では、各学年の代表が全力でバトンをつなぎ、体育祭のクライマックスにふさわしい白熱したレースとなりま

沖縄歯科衛生士学校 2年担任 新垣花絵
した。学生たちは競技を通じて、日頃の学習とは異なる形での協力やコミュニケーションの大切さを体感することができました。

本体育祭の実施にあたり、ご協力いただいた教務のみなさま、そして参加した学生のみなさんに心より感謝申し上げます。今回の体育祭で培った団結力と仲間との絆が、今後の学校生活や臨床実習、そして歯科衛生士としての将来においてきっと大きな力になると信じています。



♡♡♡♡♡沖縄歯科衛生士学校♡♡♡♡♡

令和7年度 登院式

2025年11月20日に第37期生の登院式を開催しました。天候や気温の変動が多い時期でしたが、当日は暖かく、天候にも恵まれました。

例年、学生はこれから迎える臨地・臨床実習に向けて不安や期待を胸にやや緊張感のある式典となります。

今年も例にもれず、程よい緊張感に包まれた素晴らしい式典になりました。今年は残念ながら米須校長は公務のため欠席でしたが、代役として渡慶次副校長により登院許可や点燭、校長式辞(代読)を行いました。

リハーサルでは照明や式の進行を確認する作業で手間取ってしまい、中だるみのような時間がありましたが、それが会場の雰囲気や和らげる効果があったようで、過度な緊張は見られず、堂々とした態度で臨むことができ、保護者や関係者の皆様にも成長をアピールできたのではないかと思います。

先輩たちの式典を見てあこがれている学生も少なくなく、またこの日を境に目標に向かって頑張る学生も多く、3年間の学生生活においてちょうど中間の時期にあたる登院式は特別なものがあるようです。

その様子を沖縄歯科衛生士学校のインスタグラムに投稿しているので、ご覧になっていただくと雰囲気

副校長・学校運営委員会 理事 中地 昭雄 気を感じられるのではないのでしょうか。また、式後の臨床実習説明会でも保護者への協力依頼や注意事項の説明も滞りなく終えることができました。

これから会員の診療所等へ実習に向かうこととなりますが、己を律して有意義な時間にしてくれることを願います。

年々、少子化も進んでおり、学生募集に苦慮する面もありますが、何とか定員近い学生が入学してくれています。人材育成の面で難しい時代を迎えていることは間違いありません。式典は社会貢献できる人材を育てる大事な行事となっています。

衛生士学校と関わりがあまりない先生方も一度こういった式典に足を運んでいただけると幸いです。





歯科衛生士学校

• 県歯報告 •

第39回 沖縄県歯科医学会

日時：令和7年11月3日（月）10時30分～15時40分

場所：沖縄県口腔保健医療センター大研修室

学術委員会委員 新城 美由紀

次 第

開会の辞 大会長 米須 敦子

口演発表 4題

特別講演①『沖縄県における全身管理下歯科治療
体制確立への展望』

南部医療センター・こども病院歯科口腔外科
歯科麻酔医 瀬尾 憲司 先生

ランチョンセミナー（メディカルネット社提供）

特別講演②『災害犠牲者の身元確認のための歯牙鑑定』

沖縄県歯科医師会 学術委員 荒川 彩 先生

口演発表 6題

Web配信終了

ポスター発表 2題（会場発表のみ）

閉会の辞

上記のように、第39回歯科医学会が開催されました。参加者は会場53人、Web18人でした。

特別講演①の瀬尾先生には、歯科麻酔医とは、ということに始まりその必要性・県内の現状などについて説明いただきました。将来的には開業医・口腔保健医療センター・県立病院群の三者による協体制の構築を目指して、歯科麻酔指導医・認定医の

資格取得の推進および資格取得に関する規制の改正にご尽力されているそうです。更に、瀬尾先生ご自身が企画・監修された動画「歯科診療中の緊急事態とその対応」もご紹介いただきました。

特別講演②の荒川先生には、身元不明者確認時の歯牙鑑定の重要性や、実際に鑑定する際の注意点、デンタルチャートの書き方などについて講演していただきました。

今回も昨年同様、業者のブース出展を開催し、4社（株式会社ギコウ、バイオガイアジャパン株式会社、FJグローイング サービス株式会社、株式会社メディカルネット）の協力を得ることができました。その中のメディカルネット社によるランチョンセミナーも開催しました。



第39回

沖縄県歯科医学会プログラム

令和7年11月3日

開会 10:30

開会の辞 大会長 米須 敦子

口演発表1 (10:35~11:15)

1 演題10分 (発表8分、質疑応答2分)

0-1) Gummy smile、口唇の突出が改善した
外科的矯正治療の2例○山内昌浩¹⁾、石田有宏²⁾⁴⁾、比嘉努³⁾⁴⁾、
天願俊泉³⁾⁴⁾、仲若三男⁵⁾

- 1) 中部地区 医療法人 山内矯正歯科クリニック
- 2) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 形成外科
- 3) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 歯科口腔外科
- 4) 沖縄県立病院頭蓋顎顔面センター
- 5) 南部地区 医療法人なかわか くくる歯科医院

2) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 形成外科

3) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 歯科口腔外科

4) 沖縄県立中部病院 歯科口腔外科、

5) 沖縄県立病院頭蓋顎顔面センター

6) 南部地区 医療法人なかわか くくる歯科医院

0-3) バイオプログレッシブ法で左上側切歯の
口蓋側転位を改善した一例○柴田拓也¹⁾、神農悦輝²⁾

- 1) 八重山地区 柴田ファミリー歯科
- 2) 南部地区 神農デンタルオフィス

0-2) 両側性唇顎裂の成人女性における再治療
症例から学んだこと○山内昌浩¹⁾、西関修²⁾⁵⁾、石田有宏²⁾⁵⁾、
比嘉努³⁾⁵⁾、天願俊泉³⁾⁵⁾、新垣敬一⁴⁾⁵⁾、
仲若三男⁶⁾

- 1) 中部地区 医療法人 山内矯正歯科クリニック

0-4) 成長期叢生症例にバイオプログレッシブ法を
応用した非抜歯治療の一例○柴田拓也¹⁾、神農悦輝²⁾

- 1) 八重山地区 柴田ファミリー歯科
- 2) 南部地区 神農デンタルオフィス

特別講演 1 (11:20~12:20 質疑応答10分含む)

演 題『沖縄県における全身管理下歯科治療体制確立への展望』

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 歯科口腔外科 歯科麻酔医 瀬尾 憲司先生

感謝状贈呈 (12:20~12:25)

昼 食 (12:25~13:30) ランチョンセミナー

特別講演 2 (13:30~14:05 質疑応答5分含む)

演 題『災害犠牲者の身元確認のための歯牙鑑定』

沖縄県歯科医師会 学術委員 荒川 彩

感謝状贈呈 (14:05~14:10)



口演発表2 (14:20~15:20)

1 演題10分 (発表8分、質疑応答2分)

0-5) 国民皆歯科健診に向けた県内における 歯周疾患検診実施市町村数増加の必要性

○与那嶺亮¹⁾²⁾

- 1) 沖縄県中部保健所
- 2) 九州大学大学院 歯学研究院 口腔予防医学分野

0-6) 沖縄県歯科医師会が取り組んでいる「有害な業務に係る歯科健康診断」について

○木村智弘¹⁾、徳嶺千佳子²⁾、崎原幹雄¹⁾、
安田理¹⁾、高嶺邦朗¹⁾、屋嘉智彦¹⁾

- 1) 沖縄県歯科医師会 地域保健委員会
- 2) エンゼル歯科

0-7) 歯科におけるSSI予防目的の抗菌薬投与～ 抗菌薬の適正使用を考える～

○吉田 誠

医療法人 八重瀬会 同仁病院 歯科口腔外科

0-8) 全身麻酔下歯科治療症例の実態調査 —令和6年度—

○澤田南海子、中西菜穂、新谷晃代

おもと会大浜第一病院 歯科・口腔外科

0-9) 当院歯科口腔外科開設による包括的口腔 ケアの取り組み

○小山宏樹、仲程尚子(DH)、島袋純子(DH)、
安仁屋みなみ(DH)、宮国泉(DH)、
與儀敦子(DH)

沖縄協同病院歯科口腔外科

0-10) 当科における歯性上顎洞炎の治療につ いて

○津波古判、仲盛健治、平識亘

地方独立行政法人 那覇市立病院 歯科口腔外科

閉会の辞 (15:20~15:25) Web配信終了



ポスター発表 (15:30~15:40) *会場のみ

P-1) 入院患者の口腔ケアにおけるタスクシ フト・タスクシェア

○東恩納彩乃、松堂香織、宮平生衣、圓谷智之
吉田 誠

医療法人 八重瀬会 同仁病院 歯科口腔外科

P-2) 下顎前歯部に発生したエナメル上皮種の 一例

○平識 亘、津波古判、仲盛健治

地方独立行政法人 那覇市立病院 歯科口腔外科

抄 録

口演発表

O-1) Gummy smile、口唇の突出が改善した外科的矯正治療の2例

○山内昌浩¹⁾、石田有宏²⁾⁴⁾、比嘉努³⁾⁴⁾、天願俊泉³⁾⁴⁾、仲若三男⁵⁾

- 1) 中部地区 医療法人 山内矯正歯科クリニック
- 2) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 形成外科
- 3) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 歯科口腔外科
- 4) 沖縄県立病院頭蓋顎顔面センター
- 5) 南部地区 医療法人なかわか くくる歯科医院

《発表要約》

Gummy smile、口唇の突出を伴う成人2例に対し、マルチブラケット装置で術前矯正治療後、Le Fort I型骨切り術、下顎枝矢状分割術、

advancement genioplasty を施行したところ、gummy smile、顔貌、咬合が改善したので気道と下顎頭形態についても考察を加えて報告する。

O-2) 両側性唇顎裂の成人女性における再治療症例から学んだこと

○山内昌浩¹⁾、西関修²⁾⁵⁾、石田有宏²⁾⁵⁾、比嘉努³⁾⁵⁾、天願俊泉³⁾⁵⁾、新垣敬一⁴⁾⁵⁾、仲若三男⁶⁾

- 1) 中部地区 医療法人 山内矯正歯科クリニック
- 2) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 形成外科
- 3) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 歯科口腔外科
- 4) 沖縄県立中部病院 歯科口腔外科
- 5) 沖縄県立病院頭蓋顎顔面センター
- 6) 南部地区 医療法人なかわか くくる歯科医院

《発表要約》

唇顎口蓋裂治療では機能面、整容面での複雑なニーズを確認して治療方針を決定することが重要である。両側性唇顎裂に対する一通りの口唇、外鼻修正術、矯正治療終了後に再診した成人女性に対し、顔

貌の改善を目的に沖縄県立病院頭蓋顎顔面センターと連携して軟組織二次修正術、外科的矯正治療を施行した自験例について、反省点も含めて学んだことを報告する。

O-3) バイオプログレッシブ法で左上側切歯の口蓋側転位を改善した一例

○柴田拓也¹⁾、神農悦輝²⁾

- 1) 八重山地区 柴田ファミリー歯科
- 2) 南部地区 神農デンタルオフィス

《発表要約》

患者は10歳の女兒。歯列不正を主訴に来院した。左上側切歯の口蓋側転位と左上側切歯のスペースの不足を認めた。既往歴は特記事項なし。矯正用検査（セファロ、パノラマ、模型）、診断後に矯正治療を開始することにした。非抜歯にてマルチブラケット装置による永久歯列期の矯正治療を開始した。叢生改善のため、Bio-progressive法の分割管理を応用

し、前歯部だけを選択的に前方移動することで口蓋側転位を改善するスペースを確保し、叢生改善を行い、側貌の状態の再評価を行った。3年間の動的治療後、保定へと移行した。尚、症例とともに歯科医院における歯科衛生士の存在意義、特に歯周病治療において歯科衛生士の果たす役割の重要性についても触れておきたい。

0-4) 成長期叢生症例にバイオプログレッシブ法を応用した非抜歯治療の一例

○柴田拓也¹⁾、神農悦輝²⁾

- 1) 八重山地区 柴田ファミリー歯科
- 2) 南部地区 神農デンタルオフィス

《発表要約》

患者は7歳の女児。歯列不正を主訴に当院を受診した。下顎前歯部の叢生と上顎側切歯の萌出スペースの不足を認めた。既往歴は特記事項なし。矯正用検査（セファロ、パノラマ、模型）、診断後に混合歯列期の矯正治療を開始することにした。叢生改善のため、下顎歯列に拡大床を装着した（装着期間は

2か月）。その後、上下顎前歯部にマルチブラケット装置を装着、ユーティリティーアーチワイヤーにて叢生の改善を行った。

側方歯の交換後、非抜歯にてマルチブラケット装置による永久歯列期の矯正治療を開始し、1年11か月の動的治療後、保定へと移行した。

0-5) 国民皆歯科健診に向けた県内における歯周疾患検診実施市町村数増加の必要性

○与那嶺亮¹⁾²⁾

- 1) 沖縄県中部保健所
- 2) 九州大学大学院 歯学研究院 口腔予防医学分野

《発表要約》

歯を失う主な原因である歯周病は、自覚症状が乏しいまま進行し、全身の様々な病気との関連が示唆されていることから、歯科健診/検診による早期発見が重要視されている。令和4年度に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）2022」においても、「生涯を通じた歯科健診（いわゆる国民皆歯科健診）の具体的な検討」が明記された。国民皆歯科健診の実現には、切れ目のない歯科健診/検診の提供のため、成人期における歯周疾患検診の実施・拡充が欠かせない。しかし、現行の制度では、誰もが等しく受けられるのは1.6歳児歯科健診から高校生の学校歯科健診となっている。成人期では歯周疾患検診という、多くの場合は地区歯科

医師会と市町村間で契約が結ばれて対象者が歯科医院で個別受診する制度があるが、市町村の努力義務となっているため、地域差が生じているのが現状である。また、歯周疾患検診は、10年毎の節目検診として40歳から70歳が対象とされていたが、令和8年度から20歳と30歳が追加されることとなったことを受け、健康格差の更なる拡大が予想される。沖縄県は歯科の健康指標が悪い状況にあるにもかかわらず、令和3年度において歯周疾患検診の実施状況は56.1%となっており、全国の79.4%を大きく下回る状況にある。健康長寿おきなわの復活を目指す上で、国民皆歯科健診に向けた環境整備は喫緊の課題であることから、歯周疾患検診の実施・拡充が望まれる。

0-6) 沖縄県歯科医師会が取り組んでいる「有害な業務に係る歯科健康診断」について

○木村智弘¹⁾、徳嶺千佳子²⁾、崎原幹雄¹⁾、安田理¹⁾、高嶺邦朗¹⁾、屋嘉智彦¹⁾

- 1) 沖縄県歯科医師会 地域保健委員会
- 2) エンゼル歯科

《発表要約》

沖縄県歯科医師会における有害業務従事者を対象とした特殊歯科健診の現状について報告する。まず、全国的な実施状況との比較を通じて沖縄県の特徴を明らかにし、健診実施における手順及び体制を概説

するとともに、運用上の流れを整理する。さらに、職場巡視における留意点、記録・報告体制、直面している課題について検討する。これらを踏まえ、今後の健診の質的向上と、体制整備に向けた改善の方向性を提示する。

0-7) 歯科におけるSSI予防目的の抗菌薬投与～抗菌薬の適正使用を考える～

○吉田誠

医療法人 八重瀬会 同仁病院 歯科口腔外科

《発表要約》

現在、抗菌薬にかかわる問題として、①薬剤耐性2050年問題、②抗菌薬供給不足問題が挙げられ、我々医療従事者には抗菌薬の適正使用が求められて

いる。そこで、今回、歯科における抗菌薬の使用状況について、現状を知る目的に調査を行いながら、抗菌薬の適正使用について検討、検証を行ったので報告する。

0-8) 全身麻酔下歯科治療症例の実態調査 – 令和6年度 –

○澤田南海子、中西菜穂、新谷晃代

おもと会大浜第一病院 歯科・口腔外科

《発表要約》

当院における令和6年度全身麻酔下歯科治療症例の報告と今後の展望について発表する。

0-9) 当院歯科口腔外科開設による包括的口腔ケアの取り組み

○小山宏樹、仲程尚子(DH)、島袋純子(DH)、安仁屋みなみ(DH)、宮国泉(DH)、與儀敦子(DH)

沖縄協同病院歯科口腔外科

《発表要約》

当院に歯科口腔外科が開設したことによる実績を報告する。

0-10) 当科における歯性上顎洞炎の治療について

○津波古判、仲盛健治、平識亘

地方独立行政法人 那覇市立病院 歯科口腔外科

《発表要約》

当科で加療した、歯性上顎洞炎について診断と治療について発表する。

抄 録

ポスター発表

P-1) 入院患者の口腔ケアにおけるタスクシフト・タスクシェア

○東恩納彩乃、松堂香織、宮平生衣、圓谷智之、吉田誠

医療法人 八重瀬会 同仁病院

《発表要約》

業務負担を軽減し、医療の質の向上を目的とした当院における“入院患者に対する口腔ケアのタスクシフトとタスクシェア”について紹介します。

P-2) 下顎前歯部に発生したエナメル上皮種の一例

○平識亘、津波古判、仲盛健治

独立行政法人 那覇市立病院 歯科口腔外科

《発表要約》

患者は50代女性で近医歯科医院より下顎前歯部の顎骨嚢胞の精査加療依頼で当科受診となった。診断、治療目的で開窓術を行い、病理検査でエナメル上皮種の診断となった。開窓後病変部の骨吸収像の縮小を確認し約6か月後に全身麻酔下での手術を行

った。また、術前の開窓術により保存することができた歯もあることから患者の満足度も高い。術後経過は良好で再発所見は認めない。エナメル上皮種の治療法で反復開窓術を行い、摘出術を行うことがあるが、発生部位や大きさを考慮した開窓期間や手術時期を検討する必要がある。

特別講演 1

演 題 『沖縄県における全身管理下歯科治療体制確立への展望』

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 歯科口腔外科 歯科麻酔医 瀬尾 憲司先生

特別講演 2

演 題 『災害犠牲者の身元確認のための歯牙鑑定』

沖縄県歯科医師会 学術委員 荒川 彩

赤い羽根



令和7年度

共同募金のご寄付について(お礼)

平素より、本会会務運営に関しまして御協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、時節柄出費多端の折にもかかわらず、この度赤い羽根共同募金へのご寄付にご協力頂きまして衷心より感謝申し上げます。

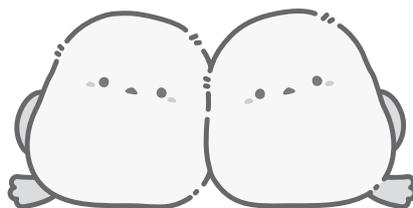
お寄せいただいた浄財（1,002,000円）は、本会館において12月11日贈呈式をおこない社会福祉事業の貴重な財源として配分させていただきました。

昭和57年から毎年寄付を頂き、今年で44回目となりました。

寄付金の合計額は、59,572,000円にのぼり、県民福祉の向上に大きく貢献しております。



赤い羽根



• 県外報告 •

第75回全国学校歯科医協議会

日時：令和7年11月20日（木）15時30分～20時30分

場所：パシフィコ横浜ノース4F

学校歯科委員会 下地竜也

1. 司 会

神奈川県歯科医師会 専務理事 今宮 圭太

2. 開会の辞

神奈川県歯科医師会 副会長 金子 守男

3. 挨拶

神奈川県歯科医師会 会長 守屋 義雄

日本学校歯科医会 会長 柘植 紳平

4. 来賓祝辞

文部科学大臣 松本 洋平

神奈川県知事 黒岩 祐治

神奈川県教育委員会教育長 花田 忠雄

日本学校保健会会長 松本 吉郎

横浜市長 山中 竹春

5. 大臣表彰受賞者紹介

大臣表彰受賞者紹介

6. 前回開催検報告

宮城県歯科医師会 会長 上窪 高志

7. 次期開催県挨拶

愛知県歯科医師会 会長 池山 正仁

8. 講演

子どもの口腔機能発達不全症について

昭和医科大学歯学部口腔衛生学講座

教授 弘中 祥司

9. 閉会の辞

神奈川県歯科医師会 常務理事 寺澤 考興

10. 感想

今回学校保健及び学校安全表彰者は、中城村立津覇小学校の学校歯科医である、新垣 善章先生が表彰されました。

学校における歯・口の健康作りに関してはこれまでむし歯の予防について大きな成果を上げてきましたが、近年は咀嚼など口腔機能の未発達や口腔の疾患への対応が生じており、今後はこれらの指導や対策の充実が求められていると感じました。

子どもの口腔機能発達不全症についての講演された、弘中 祥司先生の耳鼻科への対診で扁桃腺切除の依頼をするが近年では扁桃腺の切除をしても再度肥大するので、切除はしないと断られたとのこと。しかしあきらめきれず何度も対診をするもとうとう回答がなくなってしまい、まさに扁桃腺だけに返答せんと言うオチがとても印象的でした。



・ 県内報告 ・

令和7年度歯科医療従事者技術向上支援研修会 (歯科衛生士向け)

日時：令和7年12月7日（日）10時～16時
場所：沖縄県口腔保健医療センター 大研修室

学術委員 **新城 美由紀**



『歯周病を治せる歯科衛生士を目指そう』と題して、ハンズオンセミナーが開催されました。

講師はDH HIYOKOCLUB代表 堤内久枝先生。
アシスタントはDH HIYOKOCLUBの河本寿子さんでした。

午前の部：

- ・ 歯周病の原因をしっかりと理解し、伝えよう
- ・ シャーピング実習
- ・ ストローク実習

午後の部：

- ・ 顎模型、マネキンを使ってSRP実習

本セミナーも、5回目になりました。

スクレーピングだけの歯のクリーニング屋さんではなく、口腔や全身の問題を見落とすことなく、患者さんに寄り添える歯科衛生士の養成を目指して、講演と実習を行っていただきました。

新しい試みとして、デモの様子をカメラで撮影しながらスクリーンに映し出してみました。思うようにはいかず、設備の整った衛生士学校の活用も検討したいと思います。

募集定員は30人でしたが、申し込みは24人、前日当日キャンセルが4人出たため、最終的に受講者は20人でした。指導するのは、講師とアシスタントのお二人でしたので、実習自体は20人くらいで、ちょうど良いのではないかと思います。

今回気になったのは、実習のための準備物が揃っていない受講者が多かったことです。予め通知しているにもかかわらず、すべて持参している受講生は数名だけでした。揃っていない器具に関しては、口腔センターの物を拝借したり、学術委員の診療所の器具を持ってきたりして対応しました。来年からは、準備物の通知や実習器具の貸し出しについて、検討する必要があると思われました。



職員紹介



山城 利奈

令和7年10月より、事務局に勤務しております。

新たな環境のもと、初めての業務で慣れないことも多く不安な気持ちもありますが、誰でも最初は1年生！優しく温かい職員のみなさんに支えていただき、昨日より今日、今日より明日と学び多く、充実した日々を過ごせていることに感謝しております。

事務業務を通して、沖縄の歯科口腔医療事業に貢献できるよう笑顔で頑張りますので、ゆたさるぐとううにげーさびら！



名倉 真知子

令和7年10月より事務局にて会計業務に携わらせていただいております。

これまで、経理事務などを経験しておりますが、社団法人での業務が初めてのため、戸惑う事も多々ありますが、事務局の皆さんの的確な対応と指導に助けられ、業務に励んでおります。

皆さんのお役にたてるよう日々努力し、頑張っていきたいと思っております。

今後ともどうぞよろしくお願ひします。

治療後も定期的な通院を

比嘉良喬

比嘉歯科医院(那覇市)



人生100年時代といわれる近年、健康寿命への関心が高まっています。健康寿命とは「健康上の問題で日常生活が制限されることなく過せる期間」のことです。2022年度の厚生労働省の発表によると、女性の平均寿命は87・09歳、健康寿命は75・45歳、その差は11・64年。男性では平均寿命48年の差があります。日常生活に不自由が生じる期間が、男女ともに約8〜12年あることになりました。

口は健康の入り口

健康づくりの第一歩は、口の中を常に清潔にすることです。お使用の歯ブラシは自分の口に合っていますか？CMの印象で選んでいませんか？しっかり汚れが取れる道具選びは健康の基礎です。ぜひ歯科医院で、歯ブラシや磨き方を相談してください。

●令和7年12月17日(水曜日)

「ブクブクうがい」おすすめ

米須敦子

米須歯科医院(沖縄市)



年齢を重ねると、「口の中がいつもカラカラする」「以前より唾液が出てくなくなった」と感じる方が増えてきます。特に50代以降は加齢・薬の影響・ストレスなどが重なり、唾液量が徐々に減少します。唾液はただの「水分」ではなく、口内環境を守る大切な働きを担っており、唾液が減るとさまざまなトラブルを引き起こします。

唾液減少の予防

まず、唾液の減少は虫歯や歯周病のリスクを高めます。唾液は口の中の汚れを洗い流し、細菌の増殖を抑える役割があります。その防御力が落ちること、歯が溶けやすく、歯茎の炎症が起りやすくなります。また、口が乾燥することで舌の動きが鈍り、食事の味が感じにくくなる、食べ物がうまく飲み込めないなど不快感も生じます。さらに、口の粘膜が弱りウイルスや細菌に感染しやすくなる点も見過ごせません。

●令和8年1月21日(水曜日)

新聞記事

地方紙だより

琉球新報 2025年12月7日

小学生用食育副読本「うちな
あいのくすいむん くわつちち
さびら（2022年改訂版）」
のデータに、那覇市は全国で最
も魚介類を食べていない県庁所
在地となっていた（総務省統計
局 家計調査 品目別都道府県
庁所在市及び政令指定都市ラ
ンキング）。逆にポークやコン
ビーフ等、加工肉を
全国一消費してい
る。

このデータを知
って、診療の場
で、魚介類を食べよう、患者さん
に勧めている。すると、逆に患
者さんから意外な情報を頂くこ
とがある。了解を得た上で、一
つエピソードを紹介しよう。

那覇市在住の60代女性Dさん
は、東京から移り住んで3年以
上になる。沖縄で暮らして驚い
たことは、東京に比べマグロの



玉城 斉

論壇

刺し身が安いことだ。県民にと
って魚介類は高い食材らしい
が、マグロ好きのDさんにとっ
てはそうではなかった。うれし
くなり仕事帰り、公設市場で大
好きなマグロの刺し身を買って
食べるのが日課となった。毎日
訪れると、店主がシーブン（サ
ービス）してくれた。

刺し身が安いことだ。県民にと
って魚介類は高い食材らしい
が、マグロ好きのDさんにとっ
てはそうではなかった。うれし
くなり仕事帰り、公設市場で大
好きなマグロの刺し身を買って
食べるのが日課となった。毎日
訪れると、店主がシーブン（サ
ービス）してくれた。

剤も服用せずに正常値内を保っ
ている。

米国心臓学会は2022年6
月に、n-3（オメガ3）系脂
肪酸であるドコサヘキサエン酸
（DHA）とエイコサペンタエ
ン酸（EPA）の効果により、
魚を毎日100g以上摂取する
と、高血圧のリスクが減少する

健康に大きく関与する海産物

伝統食で長寿復活目指そう

それから数カ月後、めまい立
ちくらみが始まった。内科を
受診すると主治医から低血圧だ
と診断された。ところが、Dさ
んは高血圧で10年以上降圧剤を
服用中だったという。医師から
「血圧の薬はいったん止めてみ
ましょう」と言われ、薬を中断
し今では症状はなくなり、降圧

可能性があるという研究を発表
した。n-3系脂肪酸はサケ・
マグロ・イワシ・マス・ニシン
・カキなどの脂肪の多い魚など
に含まれているという。また、
食育副読本では子どもの場合、
1日1食50g（片手に乗る量）
が魚の目安量と記されている。
食品による体への効果は個人
差がある。Dさんの場合、マグ
ロだけでなく、環境の変化も影
響した可能性がある。ただし、
今まで本紙で述べてきたように
魚介類を食することが、健康へ
大きく関与することは確かだ。

3年前にも述べたが、10
5歳まで現役を全うした、聖
路加国際病院元病院長の故日
野原重明先生は毎日魚介類を
食べていたという。ちゃんとお
手本となる偉人が存在してい
たのだ。

海に囲まれた環境にあるわれ
われは先祖の時代から長きにわ
たり、海藻も含めた海産物を食
べ続けてきた。ウチナンチュ
にとって伝統食とも言えるだろ
う。長寿県復活を目指すならば、
そろそろ県民挙げて本気で食習
慣改善に挑む時期に来ている。
（南風原町、歯科医師会理
事、66歳）

琉球新報 令和7年12月7日（日曜日）

地方紙だより



受章者ら3人を祝福

与那原町で新年祝賀会

【与那原】与那原町主催の新年祝賀会と叙勲受章者・県功労者祝賀会が6日、上の森かなちホールであった。

照屋勉町長は「全世代が安心して暮らせるまちづくりを進めたい」とあいさつ。2019年に県内で初制定した同町の「琉球泡盛で乾杯を推進する条例」に基づき、関係者が泡盛などで乾杯した。

祝賀会には、瑞宝双光章花束を受け取った（左から）真栄平義己さん、照屋均さん、津嘉山朝祥さん。6日、与那原町・上の森かなちホール

を受章した元県生活福祉部参事の真栄平義己さん(88)と学校歯科医の照屋均さんと学校功労者表彰を受けた元県教育長の津嘉山朝祥さん(82)が出席した。

真栄平さんは「たくさん祝福を頂いて感無量。これからも心を尽くして、自分のできることをやっていきたい」とコメント。照屋さんは国家試験合格から歯科医院経営までの45年間、けがや病気で休んだことがないといい、「叙勲よりもこっちの方が表彰状をもらえるかも」と会場の笑いを誘った。津嘉山さんは「与那原は気概の町。町長や町民一人一人の顔が見えるのも大変好きです」と笑顔を見せた。

(南部報道部・平島夏実)

沖縄タイムス 令和8年1月11日(日曜日)

理事会報告

■ 令和7年度 第11回定時理事会(通算16回) 令和7年11月25日(火) 午後8時 口腔保健医療センター

I. 承認事項

1. 沖縄県歯科医師会会員退会(第1種)について
2. 「第22回沖縄県介護支援専門員研究大会in糸満」後援名義の使用について

II. 議事事項

- 第1号議案 衛生士学校「緊急時飲料提供自動販売機設置契約書」に関する件
- 第2号議案 第37回沖縄県立学校保健研究大会運営役員の依頼に関する件
- 第3号議案 沖縄県感染症対策連携協議会委員就任に関する件
- 第4号議案 (ライオン) 推奨品継続延長に関する件
- 第5号議案 沖縄県歯科医師会会長表彰推薦に関する件
- 第6号議案 沖縄県エイズ対策連絡協議会委員の推薦に関する件
- 第7号議案 (医) 秀和会出向契約書(平塚先生・加藤先生)に関する件
- 第8号議案 第35回日本禁煙推進医師歯科医師連盟総会後援の依頼に関する件
- 第9号議案 琉球大学でいご会の寄付依頼に関する件

III. 協議事項

1. 令和8年度事業計画について

IV. 報告事項

1. 令和7年度「中国・四国」「九州」地区歯科医師会役員連絡協議会出席報告
2. 令和7年度九州各県学術担当者会参加報告
3. 令和7年度沖縄県死因究明等推進協議会参加報告
4. 歯科身元確認研修会参加報告
5. 令和7年度歯科衛生士復職支援セミナー開催報告
6. 地域保健・医療管理委員会予算ヒアリング報告
7. 学校歯科・広報委員会予算ヒアリング報告
8. 沖縄歯科衛生士学校ヒアリング報告
9. 国立沖縄自然史博物館誘致県民会議準備会出席報告
10. 令和7年度歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール審査結果について
11. 令和7年度沖縄県認知症疾患医療センター講演会のお知らせについて
12. 毎月勤労統計調査(第一種事業所)に係る管下事業所への周知・協力依頼について
13. 性感染症に関する特定感染症予防指針の一部改正について
14. マイナ保険証を基本とする仕組みへの移行について
15. マイナ保険証を基本とする仕組みへの移行に向けた準備セミナー開催について ※メール・LINE 配信済
16. スマートフォンのマイナ保険証への対応に向けた導入手順書の公開について
17. 保険医療機関及び保険薬局の指定並びに保険医及び保険薬剤師の登録に関する省令の一部を改正する省令の公布について
18. 医療保険における所得区分の照会等に係る事務の廃止について
19. 第59回沖縄県母子保健大会における大会長表彰の決定について
20. 歯科医師の働き方及び歯科医療提供体制等に係る調査研究に関するアンケート調査協力の依頼について
21. 歯科用局所麻酔薬の供給状況に関する調査の実施協力依頼について

22. 委員会

- ①地域保健 ②医療管理・医業経営
③広報 ④学校運営

V. その他

1. センター診療実績について
2. 第57回沖縄県公衆衛生学会抄録発刊に伴う賛助広告について
3. 新聞論壇について
4. デジタル歯科技工セミナー（基礎コース）タイムテーブルとアンケートについて
5. 令和8年新年会次第・来賓名簿について

■ 令和7年度 第12回定時理事会(通算17回) 令和7年12月9日(火) 午後8時 口腔保健医療センター

I. 承認事項

特になし

II. 議事事項

- 第1号議案 沖縄県感染症対策連携協議会構成員の就任に関する件
第2号議案 明治安田生命保険相互会社主催「こども仕事博®2026in沖縄」参加者の手当に関する件

III. 協議事項

1. 医療管理・医業経営委員会の会員向け通知発信について
2. 訪問歯科診療推進フォーラムの弁当代について

IV. 報告事項

1. 国民医療を守るための総決起大会並びに沖縄県医療推進協議会参加報告
2. 令和7年度沖縄県周産期保健医療協議会専門部会周産期医療専門部会参加報告
3. 令和7年度九州各県地域保健担当者会議参加報告
4. 第39回沖縄県歯科医学会開催報告
5. 第53回日本歯科麻酔学会総会・学術大会参加報告
6. 第43回日本障害者歯科学会及び総会参加報告
7. 令和7年度日歯生涯研修セミナー開催報告
8. 令和7年度歯科医療従事者技術向上支援研修会開催報告
9. 社保委員会・学術委員会・センター会計ヒアリング報告
10. 都道府県歯科医師会事務長事務連絡会出席報告
11. 令和7年度厚生労働省事業「地域の在宅医療の体制整備に向けた調査・連携支援事業」におけるグループワーク研修会の実施について
12. 加盟団体（各地域）における学校歯科保健研究大会の現状調査依頼について
13. 令和7年度厚生労働行政推進調査事業におけるアンケート調査協力依頼について
14. 国民年金基金制度の普及の協力依頼について
15. 令和7年度厚生労働省「歯科情報の利活用推進事業」の調査依頼について
16. 「医療・介護等支援パッケージ」及び「重点支援地方交付金」の双方活用について
17. 医療機器の保険適用について
18. 第59回沖縄県母子保健大会にける県知事表彰の決定について
19. 第57回沖縄県公衆衛生大会における県知事表彰について
20. 令和7年度沖縄県学校保健功労者表彰の被表彰者の決定について
21. 令和7年度沖縄県医事功労者知事表彰の決定について
22. 令和7年度沖縄平和賞シンポジウムに係る周知について
23. 令和7年度沖縄県災害医療コーディネート研修の開催について

24. 「歯科クリニックのメンタルヘルス（ストレスチェック制度動画）」の日歯HP掲載について
25. 「令和7年度嚙下機能評価研修会～嚙下内視鏡検査実習～」受講者の決定について
26. 日本歯科麻酔学会と都道府県歯科医師会等の共催による「安全な歯科医療を提供するバイタルサインセミナー」について
27. 保険診療手引きに関するアンケートについて
28. 委員会
 - ①センター11月・12月 ②地域保健 ③社会保険
 - ④教育課程編成 ⑤学校歯科 ⑥学術

V. その他

1. センター診療実績について
2. 第4回沖縄県がん診療連携協議会の審議事項・報告事項の募集について
3. 令和8年新年会次第について
4. 豊見城市よりセンター歯科治療にかかる資料等の提供依頼について
5. 令和7年度第2回九州各県歯科医師会専務理事会における提出協議題について
6. 「国立沖縄自然史博物館」誘致県民会議結成会・記念シンポジウムの案内について
7. 職員の退職願について

■ 令和7年度 第13回定時理事会(通算18回) 令和7年12月23日(火) 午後8時 口腔保健医療センター

I. 承認事項

1. 沖縄県歯科医師会会員退会（第1種）について

II. 議事事項

- 第1号議案 令和7年度「健康おきなわ21」推進協議会構成員の推薦に関する件
- 第2号議案 厚生労働省の所管に係る令和8年秋の叙勲及び褒章候補者の推薦に関する件
- 第3号議案 歯科医療従事者の表彰推薦に関する件
- 第4号議案 事務局PC・サーバー保守料改定に関する件

III. 協議事項

特になし

IV. 報告事項

1. 日本歯科医師会学術委員会第2回委員会出席報告
2. 令和7年度歯科医療従事者技術向上支援研修会開催報告
3. 期中監査報告
4. コラム「会員モニターの声」執筆について
5. 令和7年度公益社団法人日本学校歯科医会会長表彰者決定について
6. 厚生労働省委託事業「地域の在宅医療の体制整備に向けた調査・連携支援事業」におけるグループワーク研修会の実施について
7. 第25回沖縄県健康教育研究大会について
8. 電子処方箋管理サービスにおける重複投薬等チェックを踏まえた対応について
9. 医療費助成の受給者証及び診察券のマイナンバーカードへの一体化に関する補助金の令和7年度の申請受付について
10. 陽進堂製品の限定出荷解除について
11. 福祉共済保険及び日歯年金保険届出状況の確認及び変更手続きについて
12. 第9・10回日本口腔衛生学会認定地域口腔保健実践者研修会の開催について
13. 委員会
 - ①学校歯科 ②衛生士学校 ③医療管理・医業経営

- ④保険 ⑤学術

V. その他

1. センター診療実績について
2. 「日歯広報」コラム『都道府県通信』1月発行分の執筆について
3. 令和8年沖縄県警察年頭視閲式について

■ 令和7年度 第14回定時理事会(通算19回) 令和8年1月13日(火) 午後8時 口腔保健医療センター

I. 承認事項

1. 沖縄県歯科医師会疾病共済金給付申請について

II. 議事事項

- 第1号議案 令和7年度第2回臨時代議員会上程事項に関する件
第2号議案 学術委員会委員の交代に関する件

III. 協議事項

1. センター機器整備の次年度予算状況説明について
2. 損保ジャパン団体保険料支払いスキーム(支払日)の変更について

IV. 報告事項

1. 第75回全国学校歯科医協議会参加報告
2. 歯科衛生士復職支援セミナー(実習)実施報告
3. 令和8年度診療報酬改定の改定率について
4. オンライン資格確認等システムのメンテナンスに伴う資格確認端末の再起動等の案内について
5. 医療機器の保険適用について
6. 国立保健医療科学院の歯科医療提供体制における課題の重要度調査への協力依頼について
7. HIV感染症の歯科医療体制の整備に関する研究の活動報告会について
8. 委員会
 - ①地域保健
 - ②教務

V. その他

1. センター診療実績について
2. 令和7年度第2回九地連協議会における提出協議題について
3. 九州地区口腔保健センター連絡協議会の各県提出協議題について
4. 沖縄尚学高校性からの問い合わせメールについて
5. 訪問歯科診療推進フォーラムについて
6. 次年度歯科技工士人材確保対策事業の歯科技工士セミナーについて

■ 令和7年度 第15回定時理事会(通算20回) 令和8年1月27日(火) 午後8時 口腔保健医療センター

I. 承認事項

1. 沖縄県歯科医師会会員入会(第1種)について
2. 沖縄県歯科医師会会員退会(第1種)について

II. 議事事項

- 第1号議案 沖縄県振興審議会委員の就任に関する件
第2号議案 職員の表彰に関する件
第3号議案 令和8年度定時代議員会日程に関する件
第4号議案 令和8年度事業計画に関する件

- 第5号議案 令和8年度予算案に関する件
- 第6号議案 地域保健委員会の委員増員に関する件
- 第7号議案 各地区助成金（予算）に関する件
- 第8号議案 日本歯科衛生士会武藤会長の講演依頼に関する件

Ⅲ. 協議事項

- 1. （沖縄タイムス）新小学1年生おめでとう新聞広告出稿について

Ⅳ. 報告事項

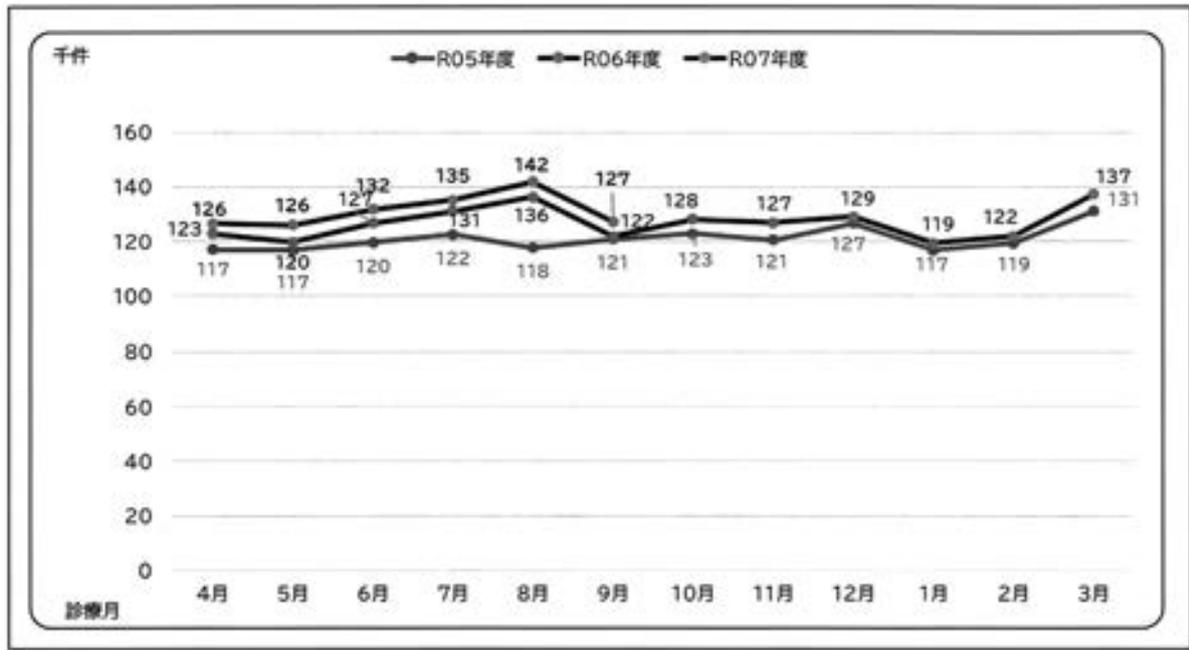
- 1. 第27回日本H I V歯科医療研究会総会学術集会参加報告
- 2. 美ら島レスキュー2025参加報告
- 3. 令和7年度災害医療コーディネーター研修会参加報告
- 4. 令和8年度口腔保健センター設備整備関連打合せ報告
- 5. 保険代理店変更に伴う東京海上日動保険引き落とし日の変更について
- 6. 一社）日本デジタル歯科学会 2025年度冬季セミナーの案内について
- 7. 令和7年度健康長寿おきなわ復活県民会議の開催について
- 8. 「AMR対策歯科診療セミナー」の開催について
- 9. 第83回全国小学生歯磨き大会募集開始について
- 10. 第16回沖縄H I V臨床カンファレンス開催の案内について
- 11. 令和8年度歯・口の健康普及啓発キャラバン（講師派遣）事業について
- 12. 令和8年度診療報酬改定の改定項目に係るパブリックコメントの募集について
- 13. オンライン申請の対象となる施設基準の追加について
- 14. 令和8年度診療報酬改定議論を踏まえた、歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）及び（Ⅱ）の届出促進について
- 15. 「歯科医師の働き方及び歯科医療提供体制等に係る調査」協力依頼について
- 16. 日本学校歯科医会「基礎研修」「更新研修」案内と受講者推薦依頼について
- 17. 琉大上原キャンパス旧おきなわクリニカルシミュレーションセンター建築物について
- 18. 酸化エチレン（エチレンオキシド）の使用・排出実態把握について
- 19. 委員会
 - ①学校運営 ②学校歯科 ③医療管理・医業経営
 - ④学術 ⑤調査広報

Ⅴ. その他

- 1. センター診療実績について
- 2. 日歯広報コラム「会員モニターの声」の執筆について
- 3. 第207回日本歯科医師会臨時代議員会における「地区代表事前質問（案）」の送付について
- 4. 渡嘉敷村 令和8年度高齢者の保健事業にかかる口腔機能改善事業の歯科健診について
- 5. 沖縄県がん診療連携協議会宛文書及び医療施設宛協議会発出文書について
- 6. 新Eシステム説明会における想定問答作成依頼について

【歯科診療報酬支払確定件数の推移】

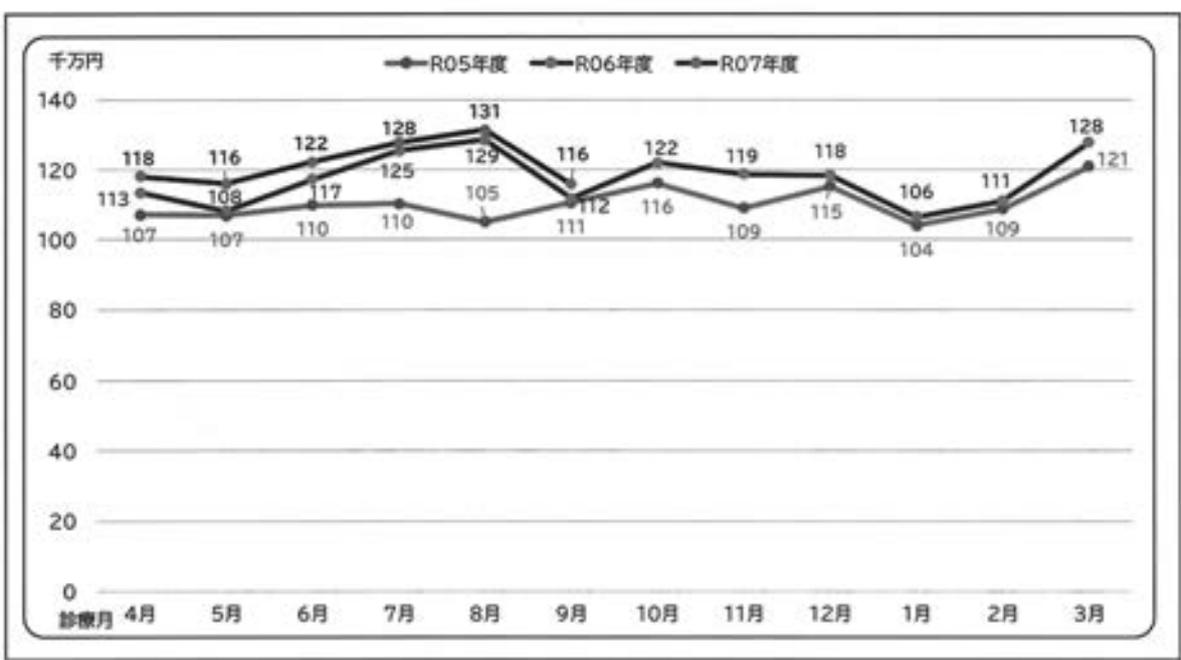
(2) 診療報酬等支払確定件数の推移【歯科】



前月対比△1万5千件 前年同月対比+5千件

【歯科診療報酬等支払確定金額の推移】

(3) 診療報酬等支払確定金額の推移【歯科】



前月対比△1億5千万円 前年同月対比+4千万円

編集後記

最後のページまで会誌をめくっていただき、ありがとうございます。

今回、初めて記事の作成を担当させていただきましたが、慣れないことも多く、思うように書けなかった部分もあったのが正直なところですが、それでも、先生方や事務局の皆さまのご協力のおかげで、何とか形にすることができました。

まだまだ勉強中ではありますが、今後は文章表現にも少しずつ慣れ、より読みやすく、内容が伝わる記事を書けるよう頑張っていきたいと思っております。お気づきの点などがありましたら、ぜひご意見をお寄せください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

調査広報委員 松川 拓 幹

沖縄タイムス「歯の長寿学」 原稿募集について

沖縄県歯科医師会は、月1で沖縄タイムスの「歯の長寿学」欄に会員の先生のコラムを掲載しています。内容は、歯の健康にまつわる事なら、なんでも構いません。報酬はありませんが、医院名や先生のお名前は掲載されますので、イメージアップにつながるかと思います。

1. 掲載内容：歯の健康について(分かりやすく中学生が理解できる程度で、面白い内容をお願いします)
 2. 文字数：800字
 3. 掲載日：第3水曜日
 4. 送付先：沖縄県歯科医師会事務局
・メール：okisi@okisi.org ・Fax：098-996-3562 ・郵送：〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-1
 5. 原稿料：なし
- *誠に申し訳ありませんが、原稿の採用および掲載日については、広報委員会に一任頂きたいと思っております。
*同じタイトルや同じような内容の投稿に関しては、掲載されないこともあります。
*掲載が決まりましたら事前に校正していただくことができます。
*ご不明な点がございましたら、事務局または広報委員までお問い合わせください。

沖縄県歯科医師会HPについて

沖縄県歯科医師会のホームページ(<http://www.okisi.org/>)では、「歯医者をさがす」のコーナーで、会員の先生方の医院の紹介をしています。内容に誤りや変更がある場合、訂正いたしますので、事務局までご連絡ください。また、ホームページ全体の改善点やご要望がありましたら、事務局または広報委員まで、ご意見お寄せください。

広報委員：米須 敦子・下所 由美子・張江 昌宏・砂川 和則・本永 昌代・佐久本 圭・松川 拓幹

令和8年1号

印刷日：令和8年2月10日
発行日：令和8年2月18日

発行人：(一社)沖縄県歯科医師会
☎098 (996) 3561
<http://www.okisi.org/>

編集人：米 須 敦 子
印刷：(株)ちとせ印刷
E-mail chitose.f@gamma.ocn.ne.jp

8020達成者認定証の発行について

平素より本会会務運営にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、このたび本会では会員からご推薦いただいた8020達成者に標記の認定証を発行する事といたしました。

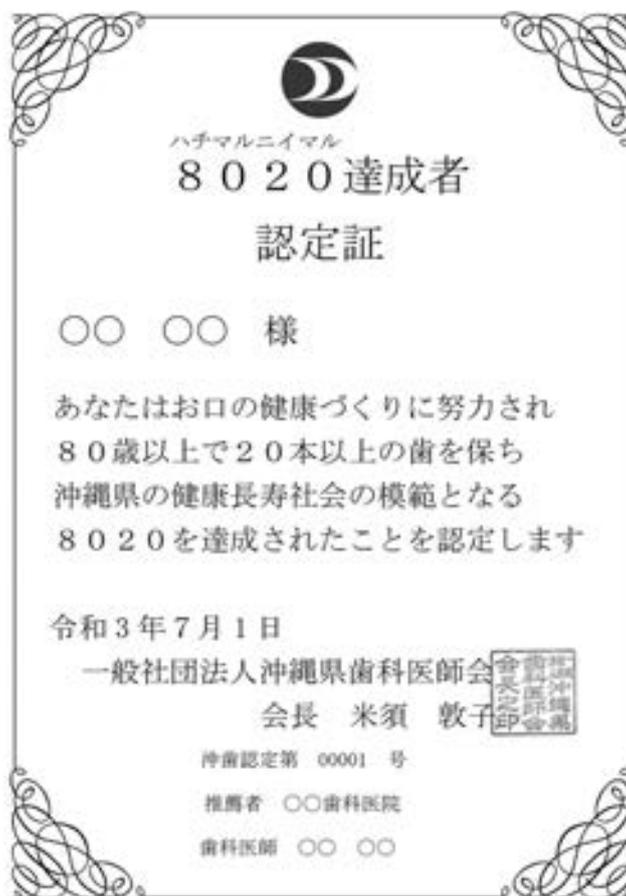
つきましては、該当者がいらっしゃいましたら別添の推薦様式にて、ご推薦いただきたく存じます。

過去に8020表彰を受けていらっしゃる方も認定証という事で改めて対象になります。

認定証は会員診療所に送付いたしますので、会員から達成者にお渡しいただきたく存じます。

会員各位のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

見本



連絡先

沖縄県歯科医師会事務局

TEL : 098-996-3561 FAX : 098-996-3562

8020達成者推薦書

沖縄県歯科医師会会長 殿

推薦者

医院名： _____

氏 名： _____

令和 年 月 日

以下の通り推薦申し上げます。

8020達成者推薦書		
氏 名	ふりがな	性 別
		男・女
生年月日(年齢)	明・大・昭 年 月 日 () 歳	
ご本人連絡先	住 所	〒(-)
	電話番号	
現 在 歯 数	本	
自 立 状 態 (あてはまるものに○)	① 自力歩行可 ② 介助有りて歩行可 ③ 車いす ④ 外出困難 ⑤ その他 ()	
補 綴 状 態 (あてはまるものに○)	① 不 要 ② 良 好 ③ 要 改 善	
特 記 事 項		

※県歯事務局へ郵送またはFAXにてご提出ください
(FAX : 098-996-3562)

会員動向

会員：令和8年2月1日 現在502人

内 訳

種 別	男	女	計
1 種 会 員	295	40	335
2 種 会 員	17	6	23
3 種 会 員	35	27	62
4 種 会 員	2	0	2
終 身 会 員	70	10	80
計	419	83	502

正会員地区別

地 区	男	女	計
北 部 地 区	24	1	25
中 部 地 区	117	16	133
南 部 地 区	213	32	245
宮 古 地 区	15	7	22
八 重 山 地 区	13	0	13
計	382	56	438

入・退会状況（1種・2種・終身）（正会員）

種 別	男	女	計
入 会 者	0	0	0
退 会 者	2	1	3
計	-2	-1	-3

入・退会状況（3種・4種準会員）

種 別	男	女	計
入 会 者	0	0	0
退 会 者	0	0	0
計	0	0	0

退会会員（3名）

氏 名	日 付	理 由
眞 座 孝	令和7年12月31日	一身上の都合(南部地区)第1種会員
上 間 剛 将	令和8年1月19日	ご逝去(八重山地区)終身会員
比 嘉 洋 子	令和8年1月31日	一身上の都合(南部地区)第1種会員



組合員の皆さまへ

令和8年度から、「子ども・子育て支援金制度」の導入により、新しい保険料の徴収が始まります。

この制度は、子育てを「家庭だけでなく社会全体で支える」ことを目的としており、子育て世帯への支援をより充実させるための仕組みです。

主な使い道としては、児童手当の拡充や出産・育児に関する制度の充実に使われます。児童手当については、所得制限がなくなり、支給対象年齢が高校生年代まで延長され、支給額は月額1万5千円ですが、第3子以降はさらに手厚く、月額3万円に増額しています。これらの財源は、法律に基づいて国民健康保険料とあわせて徴収されることとなります。

全国歯科医師国民健康保険組合でも、令和8年度から組合員の皆さまより支援金をお預かりし、国に納付いたします。国が各保険者から徴収する支援金の総額はおよそ1兆円と見込まれており、各保険者の財政状況に応じて国が徴収金額を決めます。

当組合ではその金額に基づき、新たに「子ども・子育て支援金」として、基礎賦課額や後期高齢者支援金などと同様に、事業主の皆さまからは「所得割保険料」として25%をご負担いただき、残りの75%は、高校を卒業した18歳以上の被保険者の皆さまの「均等割保険料」として徴収させていただきます。

また、保険料負担が急に増えないよう、支援金は令和8年度から令和10年度にかけて段階的に引き上げられる予定です。ただし、国が令和10年度に支援納付金の最大規模を決めているため、右肩上がりが増え続けることはありません。

令和8年度の「子ども・子育て支援金」の賦課額は、令和8年3月開催の組合会后、お知らせします。令和7年9月現在の試算では、1種組合員月額380円（この他に事業主には所得割を賦課 医業収入×0.2/1000）、2種組合員月額570円、3種組合員月額380円、ご家族で月額260円程度となる見込みです。令和9年度は令和8年度のおおよそ1.4倍増、令和10年度は1.7倍程度になる見込みです。

新たな保険料の負担をお願いすることになりますが、当組合にも子育て世帯や出産を控えた方が多くいらっしゃいます。お互いに支え合い、社会全体で子育てを応援していくための制度として、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

組合員の皆さまへ

新しい保険料（子ども・子育て支援金）
の徴収が始まります子ども・子育て
支援金制度

子育てを「家庭だけでなく社会全体で支える」ことを目的として、子育て世帯への支援をより充実させるための仕組みで、保険料と一緒に徴収して国に納付します。

いつから？ 令和8年4月分保険料より徴収します。

令和7年9月現在の試算では、以下の金額になる見込みです。
正式な賦課額は、令和8年3月通常組合会で決定されます。

保険料は？

1種組合員	所得割	(医業収入(上限1億円))×(0.2/1000)円			
	均等割	380円			
1種家族	均等割	260円			
2種組合員	均等割	570円	2種家族	均等割	260円
3種組合員	均等割	380円	3種家族	均等割	260円

高校生以下の被保険者からは徴収しません。

何に使う？

児童手当の拡充

- ・所得によらず、支給対象となります。
- ・支給期間を高校生年代まで延長します。
- ・第3子以降はより手厚く、一人当たり月3万円に大幅増額します。
- ・4か月に1回から、2か月に1回の支給になります。

こども誰でも通園制度

「こども誰でも通園制度」は、保育所等に通っていない0歳6か月から満3歳未満の子どもが時間単位等で柔軟に利用できる制度です。
(子ども1人当たり10時間/月)

妊婦のための支援給付

- 「伴走型相談支援」の面談と合わせて、
- ・妊娠届出時に5万円
 - ・妊娠後期以降に妊娠している子どもの数×5万円
- を支給します。

出生後休業支援給付

「出生後休業支援給付」を創設し、子の出生直後の一定期間内に両親ともに14日以上の子育て休業を取った場合、最大28日間、手取りの10割相当を支給します。

育児期間中の国民年金保険料免除

国民年金の第1号被保険者の方を対象に、育児期間中の国民年金保険料免除措置を創設します。

育児時短就業給付

「育児時短就業給付」を創設し、子どもが2歳未満の期間に、時短勤務を選択した場合に、時短勤務時の賃金の原則10%を支給します。

新たな負担をお願いすることになりますが、当組合にも子育て世帯や出産を控えた方が多くいらっしゃいます。

お互いに支え合い、社会全体で子育てを応援していくための制度として、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

重要性分類Ⅲ
本事資資管 000710
令和 8 年 1 月 14 日

日本歯科医師会
会長 高橋 英登 様

社会保険診療報酬支払基金
理事長 神田 裕二



令和 8 年度における診療報酬の支払日について

平素は支払基金の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和 8 年度における診療報酬の支払日については、別紙のとおり予定していますのでご連絡いたします。

令和8年度における診療報酬の支払予定日

納入月 ・ 支払月	診療報酬	
	保険者から基金への 納入期日	基金から医療機関への 支払日
令和8年 4月	4月20日(月)	4月21日(火)
5月	5月20日(水)	5月21日(木)
6月	6月19日(金)	6月22日(月)
7月	7月21日(火)	7月22日(水)
8月	8月20日(木)	8月21日(金)
9月	9月18日(金)	9月24日(木)
10月	10月20日(火)	10月21日(水)
11月	11月19日(木)	11月20日(金)
12月	12月21日(月)	12月22日(火)
令和9年 1月	1月20日(水)	1月21日(木)
2月	2月19日(金)	2月22日(月)
3月	3月19日(金)	3月23日(火)

沖国保連第1389-2号
令和8年2月4日

保険医療機関
保険薬局 } 御中
訪問看護事業所

沖縄県国民健康保険団体連合会
事務局長 大城 博之
(公 印 省 略)

令和8年度のレセプト提出締切日及び診療報酬支払日について

本会の診療報酬審査支払業務につきましては、平素より格別なる御協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、みだしのことについては、請求省令により提出日は『診療翌月の10日まで』と規定されており、本会では審査支払業務を円滑に実施するため受付協力日及び支払日を別紙のとおりといたしました。

つきましては、受付日程への御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

※本会ホームページへも掲示いたしておりますのでご確認ください。

ホームページアドレス 「<http://www.okikoku.or.jp/>」

お問合せ先
沖縄県国民健康保険団体連合会 審査課
TEL：098-863-2473

別紙

令和8年度 レセプト提出締切日及び診療報酬支払日（国保）

	レセプト受付協力日	レセプト受付締切日	診療報酬等の支払日
令和8年 4月	9日(木)	10日(金)	20日(月)
令和8年 5月	8日(金)	10日(日) *開所	20日(水)
令和8年 6月	9日(火)	10日(水)	22日(月)
令和8年 7月	9日(木)	10日(金)	21日(火)
令和8年 8月	7日(金)	10日(月)	20日(木)
令和8年 9月	9日(水)	10日(木)	24日(木)
令和8年 10月	9日(金)	10日(土) *開所	20日(火)
令和8年 11月	9日(月)	10日(火)	20日(金)
令和8年 12月	9日(水)	10日(木)	21日(月)
令和9年 1月	8日(金)	10日(日) *開所	20日(水)
令和9年 2月	9日(火)	10日(水)	22日(月)
令和9年 3月	9日(火)	10日(水)	23日(火)

※ レセプトの受付締切は、10日(必着)です。(請求省令により毎月10日までと定められております)

※ 受付窓口は、午前9時から午後5時までとなります。

※ 12月は早期提出にご協力お願いいたします。

※ 令和8年5月9日(土)、8月8日(土)9日(日)、令和9年1月9日(土)は、開所となりますのでご注意ください。

郵便等により送付される場合は、安全確実な方法にて毎月1日～10日必着でお願いいたします。

お問合せ先
 沖縄県国民健康保険団体連合会
 TEL 098-863-2473 (審査課)

採用につながる！ 歯科専門の求人サイト



歯科求人スカウト

採用するまで無料！

歯科医師 正社員	45万円	歯科医師 パート	22.5万円
歯科衛生士 正社員	22万円	歯科衛生士 パート	11万円
保育士 正社員	30万円	保育士 パート	15万円

※採用する際に上記料金がかかります

まずはお気軽に、フリーダイヤルまたは
下記QRコードからお問い合わせください



0120-777-277



アスカグループ

お問い合わせは
こちらから



沖縄県の
健康長寿復活に向けて



毎月

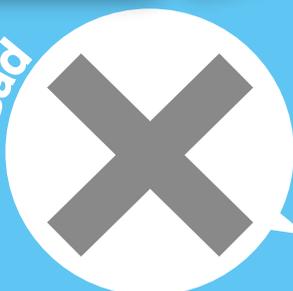


日は

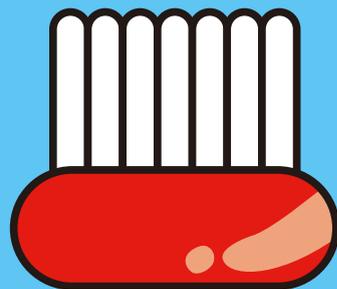
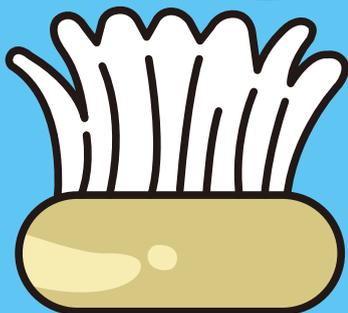
沖縄県歯科医師会制定

歯ブラシの日

Bad



Good



日本歯科医師会PRキャラクター よ坊さん (沖縄県)



(一社) 沖縄県歯科医師会

TEL 098-996-3561